

愛知万博までの完成を目指して建設が進んでいる第

2東名高速道路矢作川橋主径間部の桁が連結した。

16日

に催され

た連結式典には

約200人

の関係者

が参加、桐

越信・国土交通

省中部地整道路

部長はじめ、関

係自治体、地域

住民代表がそれ

ぞれ祝辞を述べ

た。

また、JH中

部支社の吉川良

一社長は「万

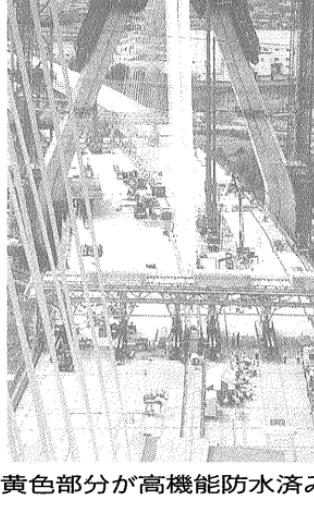
博・空港のア

セス道路の中で

矢作川橋を一番

心配しました

矢作川橋が連結した。



黄色部分が高機能防水済み

同橋の床版部は全体で3万6千平方メートル。そのうちの暫定走行車線（片側2車線）、鋼床版とPC床版の接合部および溜水しやすい伸縮装置周辺の防水に使用した。当初はSMA（碎石マスチックアスファルト）通常の防水で施工する予定だったが、基層打ち直しまでの30年の長期耐久性を検討した結果、高機能ポリウレ

タン防水の方が「防水性能に優れ、30年程度の長期耐久性があり、LCCでも有利となる」（上東泰工事長）ため採用した。

また、今回の防水工では現場の施工管理に合わせて防水層を上部工工種の一部に、舗装との接着層を舗装工の一部という形に分離し工の一貫としている。

採用工法は「ノバレタブES」。既に福岡北九州高速道路公社などでも採用実績がある。1日1ペーティー

800平方メートル。

当社の標準施工面積は約

が、万博開催まで期日を大

きく残して桁連結に至りま

した。朝7時～夜12時まで

2交代制の突貫工に耐え

た。

同橋は橋長820メートル

（最大支間235メートル）のPC

橋。

た。

地域住民の皆様方に厚く御

礼申し上げます」と述べ

た。

矢作川橋が連結

ました。

矢作川橋が連結

ました。